

令和8年6月11日

長崎市議会議員 あて

陳情者住所

陳情者氏名 本多 徹

夏季における通学路・公園等の日陰環境整備に関する陳情書

1 陳情の趣旨

近年の猛暑により、通学路、公園、バス停、公共施設周辺などにおいて、子どもや高齢者が強い直射日光やアスファルトの照り返しにさらされる状況が増えています。特に子どもは身長が低く、地面からの熱の影響を受けやすいため、熱中症リスクが高いと考えます。

長崎市は坂道も多く、徒歩での通学、通園、通院、買い物、公共交通機関の利用時に、日陰のない区間を移動したり、信号やバス停で待機したりする場面があります。また、稲佐山公園の水遊び場のように、子どもにとって魅力的な施設であっても、周辺に日陰が少ないため、夏場は保護者も子どもも長時間利用しにくい状況があります。

そこで、すべての道路や公園を大規模に改修するのではなく、まずは子どもや高齢者の利用が多い優先度の高い場所に、夏季限定で通気性のあるメッシュ状タープや簡易シェード等を設置し、日陰を確保する取り組みを求めます。既存の街灯、フェンス、公園設備、公共施設の外構等を活用できれば、比較的低コストで短期間に試行できると考えます。

2 陳情項目

1. 小学校、幼稚園、保育園周辺の通学路・通園路、信号待ち地点、バス停等について、夏季の直射日光を軽減する日陰環境の整備を検討すること。
2. 公園の遊具周辺、水遊び場周辺、保護者の見守りスペース、ベンチ周辺等について、子どもが安全に遊び、保護者が安心して見守れるよう、日陰の確保を進めること。
3. 稲佐山公園の水遊び場など、夏場の利用が多く熱中症リスクが高い場所をモデル箇所として、夏季限定のメッシュ状タープ、簡易シェード、日陰ベンチ等を試験的に設置すること。
4. 設置にあたっては、通気性、視認性、景観、台風時の撤去、安全管理、維持費等に配慮し、常設に限らず、季節限定・着脱式の方法も含めて検討すること。
5. モデル事業の効果や課題を検証し、必要性の高い通学路、公園、公共施設周辺等へ段階的に拡大すること。

以上

